

2023年度「ミュージアム・リレー」

—豊かな自然と文化に恵まれた西さがみ地域だからできる、ここだけのお得な体験が続々—

ミュージアム・リレーとは？



シンボルマーク

神奈川県西部地域のミュージアム施設が相互交流を通じて生涯学習時代にふさわしい「開かれたミュージアム」のあり方を探求するために平成8年に「神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会（通称：WESKAMS）」が設立されました。その加盟施設が、施設の特色を活かした特別な企画や、スタッフによる分かりやすい解説を行う、リレー形式の催しです。ミュージアムに親しみ、理解を深める機会としていただけますよう、皆さまのご参加をお待ちしております。

※感染症等の状況により、イベントや解説の中止、定員の見直しが生じる場合があります。最新の情報は各施設にお問い合わせください。

【お申込み方法】施設ごとに指定の方法でお申し込み下さい。

○電話・メールの場合（先着順）：参加人数、参加者全員の住所・氏名・電話番号をお伝えください。

○往復葉書の場合（抽選）：次の内容を書いてお申し込みください。（締切日必着です）

往信面：①参加希望の館名、②参加人数、③参加者全員の住所・氏名・電話番号

返信面：①申し込まれた方の住所・宛名

○博物館ウェブサイトの申込フォームの場合（抽選）：フォームに従い、必要事項を入力してください。

* 特に記載のない限り各開催日の3か月前から受け付けます。 * 各施設、お1人・1グループにつき1回の申込みでお願いします。

* 開催場所への移動は各自でお願いいたします。

* 別途、駐車料金がかかる場合があります。

第320走	4月14日（金）	
10:00~12:00 【箱根ビジターセンター】	13:30~15:30 【箱根町立箱根ジオミュージアム】	
春爛漫のビジターセンター周辺をのんびりお散歩します。見頃を迎えたマメザクラ、ヤマザクラ、ミツバツツジやスミレの仲間の美しい花や芳しい香り、南の国からやって来た色鮮やかな夏鳥の囀り、賑やかなカエルの声…。五感を使って箱根の春を満喫しましょう。小さなお子様のご参加も大歓迎です。ご家族、お友達お誘い合わせの上で参加ください。	館内見学と大涌谷周辺の屋外観察会（悪天候時は中止）を予定しております。館内見学では箱根の温泉や火山の歴史、火山の観測についての紹介や大涌谷の硫黄や岩石の標本等を観察します。屋外観察会では大涌谷の噴気や蒸気井温泉をはじめ、箱根の外輪山や芦ノ湖、富士火山等の地形を観察します。条件によっては東京スカイツリー、横浜ランドマークタワーも確認できるかもしれません。（双眼鏡も用意します）。	
定員・参加費	10名・無料(解説付き)	10名・100円(解説付き)
申込方法	電話で4月14日（金）まで 定員に達していない場合、当日受付も可 Tel.0460-84-9981	電話で4月12日（水）まで Tel.0460-83-8140 お車でのお越しの方へ：駐車場待ちで渋滞の可能性があります。 ロープウェイでのお越しの方へ：強風等で運休する場合があります。

第321走	5月10日（水）		
10:00~12:00 【箱根美術館】	13:00~13:50 【箱根写真美術館】	14:00~15:30 【箱根強羅公園】	
縄文土器や埴輪、鎌倉・室町時代の備前・常滑・信楽などの六古窯の壺・甕、桃山時代の茶の湯の陶磁器、鍋島・伊万里などの色絵陶磁器等、「やきもの」を中心に展示する美術館。あわせて苔とモミジの苔庭、巨岩と溪流の石楽園、竹庭など、国の名勝に指定された四季折々に美しい庭園を併設しています。庭園内には、大正期の実業家・藤山雷太の別荘で現在は登録記念物となっている「神山荘」があり、美術館、庭園と併せて邸宅内部をゆっくりご覧いただけます。	箱根写真美術館は、三代に渡り写真家として活動を続けた山田・遠藤家の居住敷地内の一部に展示棟を作り、2002（平成14）年4月7日に開館した個人立美術館です。小さくもこだわりのある美術館建築で、箱根出身の写真家・遠藤桂が30年以上撮り続けている富士山の幻想的な作品をご覧いただけます。当日はスタッフが常設展と企画展の解説を行います。	強羅駅から徒歩約5分にある「箱根強羅公園」は1914年に開園し、100年を超える歴史を有しています。公園では、シンボルであるヒマラヤ杉や噴水池をはじめ、歴史あるお茶室「白雲洞茶苑」や熱帯植物、ブーゲンビリア館などをお楽しみいただけます。当日は箱根町花にも認定されている約20本のハコネサンショウバラをはじめ、歴史豊かな箱根強羅公園を、スタッフが丁寧にガイドします。	
定員・参加費	30名・3館で1,000円（通常1,950円） ※3館共通の申し込みとなります		
申込方法	往復葉書または電話で5月2日（火）必着 〒250-0408 足柄下郡箱根町強羅1300 箱根美術館リレー係 宛 Tel.0460-82-2623		

第322走	7月12日（水）	
10:00~12:00 【箱根ドールハウス美術館】		
ドールハウスとは「小さな家」を意味し、実際の1/12サイズを基準に再現された、ミニチュアの家や家具調度品を意味します。当館では、世界二大プライベートコレクションをはじめ、イギリス・アメリカ・ドイツ・日本など各地で集められたアンティークから現代作家による作品まで数多く展覧しています。当日は、学芸員によるギャラリートークを実施。館長の提唱する6つの楽しみ方「見る・遊ぶ・学ぶ・作る・集める・旅する」を来館者の皆様に体験していただき、楽しいミニチュアワールドをご案内します。		
定員・参加費	20名・大人600円、大学生・高校生・中学生・小学生300円（通常大人1,200円、中高大生1,000円等）	
申込方法	電話またはメールで7月11日（火）17時まで Tel.0460-85-1321 メール： dollhouse@pierota.co.jp	

第 323 走	8 月 4 日(金) 10:00~12:00 【箱根湿生花園】
箱根仙石原にある植物園。湿原をはじめとして、河川や湖沼などの水湿地に生育する植物を観察することができます。当日は、この時期に見頃を迎えるサギソウ、コオニユリ、シラヒゲソウ、レンゲショウマといった夏の湿原を代表する植物を職員の解説によりご案内いたします。また、夏の人気企画となっている食虫植物の展示も詳しくご紹介いたします。	
定員・参加費	20名・参加費 大人 350 円、小人（小学生）200 円（通常 大人 700 円、小人（小学生）400 円）
申込方法	電話で 8 月 3 日（木）17 時まで Tel.0460-84-7293

第 324 走	8 月 25 日(金) 13:15~14:45 【神奈川県立生命の星・地球博物館】
地球の誕生から現在までの 46 億年にわたる歴史と生命の多様性をわかりやすく展示しています。巨大な恐竜やいん石から豆粒ほどの昆虫まで 1 万点にのぼる実物標本を展示しています。当日は、特別展「みんなで探そう かながわのご当地菌類（仮称）」を学芸員がご案内します。きのこ・カビなどの菌類は、私たちに身近な存在であると同時に謎に包まれた存在でもあります。本特別展では、本県から新種発表された菌類や、絶滅のおそれのある種、県内でよく見られる種など、かながわを代表する「ご当地菌類」を多数展示し、菌類の調査・研究に多くの方が関わっていることもご紹介いたします。	
定員・参加費	20名・無料（通常 大人 520 円等）
申込方法	博物館ウェブサイトの申込フォーム（URL:https://nh.kanagawa-museum.jp/）または往復葉書で 8 月 11 日（金）必着 〒250-0031 小田原市入生田 499 神奈川県立生命の星・地球博物館 リレー係 Tel.0465-21-1515

第 325 走	9 月 13 日(水) 10:00~12:00 【箱根ガラスの森美術館】
世界中の人々に愛されているヨーロッパのガラス。歴史に翻弄されながらも、美しく花開いた欧州各国のガラス芸術の輝きは、今もゆるぎない伝統と確かな技術に支えられ、本物の美を私たちに伝えていきます。今年度の箱根ガラスの森美術館のミュージアム・リレーでは、ヴェネチア、プラハ、パリ～ヨーロッパのガラス工芸を象徴する三つの都市のヴェネチアン・グラス、ボヘミアン・グラス、バカラ・グラスの名品、約 80 点をクロスオーバーさせた特別企画展を当館学芸員がご紹介いたします。	
定員・参加費	40名・1,000 円（解説付き）（通常 大人 1,800 円） ※駐車料金 300 円 無料の第 3 駐車場も近くにあります。
申込方法	往復葉書で 8 月 28 日（月）必着 〒250-0631 足柄下郡箱根町仙石原 940-48 箱根ガラスの森美術館 ミュージアム・リレー係 宛 Tel.0460-86-3111

第 326 走	9 月 22 日(金)	
10:00~12:00 【MOA 美術館】	14:00~16:00 【町立湯河原美術館】	
MOA 美術館は 2017 年、世界的に活躍する現代美術作家 杉本博司と建築家 榎田倫之氏とが主宰する「新素材研究所」のデザインにより、展示空間のリニューアルを実施しました。日本の伝統的な素材を用いた現代的な展示空間では、「人間国宝展」を開催中です。本展は日本伝統工芸展の 70 回を記念して開催するもので、「重要無形文化財保持者」に認定されたいわゆる人間国宝の作品を紹介し、素材の特性を最大限に活かしながら、作品を使う相手の気持ちを慮り、そこに個性を発揮していく高度な工芸技術を探ります。	当館は、明治期に創業した老舗旅館の建物を改修してできた美術館です。旅館には竹内栖鳳、夏目漱石、安井曾太郎など多くの文人墨客が滞在。当館の所蔵品はその歴史に由来しています。さらにコレクションのもうひとつの中核が、現代日本画家・平松礼二の作品です。平松作品を紹介する「平松礼二館」、制作の様子がうかがえる「平松礼二公開アトリエ」があります。当日は、平松礼二館企画展「夏一睡蓮を中心に」、収蔵品小企画展「みえるもの、みえてくるもの」の展示をはじめ、館内を学芸員がご案内します。	
定員・参加費	100名・1,000 円（通常 大人 1,600 円）	20名・400 円（通常 大人 600 円）
申込方法	往復葉書で 9 月 8 日（金）必着 〒413-8511 静岡県熱海市桃山町 26-2 MOA 美術館 ミュージアム・リレー係 宛 Tel.0557-84-2511	電話で 9 月 21 日（木）まで Tel.0465-63-7788

第 327 走	10 月 6 日(金)	
10:00~12:00 【箱根関所】	13:30~15:30 【神奈川県立恩賜箱根公園】	
箱根関所は、江戸時代初期の 1619 年から現在の場所に設置され、五街道の中でも「東海道」の往来を監視する重要な役割を担い、260 年間に亘る徳川政権を支えた交通施設でした。現在の建物は 1865 年に大規模改修された時の史料に基づき、建物や周囲に張り巡らされた木柵など、当時のままの江戸時代の環境を全て正確に復元しています。「一歩足を踏み込めば、そこはまさしく江戸時代！」当時の旅人気分になって江戸時代の関所をご堪能ください。お待ちしております。	当園は、皇族の避暑や外国からの来賓をもてなすため、明治 19 年に築造された「箱根離宮」の跡地に広がる公園です。富士山を正面に芦ノ湖を見下ろす景色は往時のままで、当時の離宮「西洋館」の礎石や二百階段など、その痕跡も残されています。「かながわの景勝 50 選」や「関東の富士見 100 景」にも選ばれており、春の桜や夏のヤマユリ、秋の紅葉など四季折々の花や造形の美しい樹木などの庭園美も魅力です。当日は園内の見所を解説付きでご案内します。	
定員・参加費	20名・無料（通常 大人 500 円）	20名・無料（解説付き） ※恩賜箱根公園駐車場は有料
申込方法	電話かメールで 9 月 29 日(金)必着 Tel.0460-83-6635 メール sekisho@town.hakone.kanagawa.jp	電話で 10 月 1 日（日）まで Tel.0460-83-7484

第 328 走	10月20日(金)	
10:00~12:00 【真鶴町立中川一政美術館】	13:30~15:30 【真鶴町立遠藤貝類博物館】	
真鶴町にアトリエを構え、戦後の日本洋画壇をけん引し、文化勲章受章者である中川一政画伯(1893-1991)の美術館です。当館では中川画伯の絵画、書、陶芸、蒐集品など総計830点の作品を収蔵し、その中から常時80点ほどを出品し、年間3~4回展覧会を開催しています。当日は、中川画伯の「詩歌」「画」「書」をキーワードにした展示を学芸員の解説とともにご案内します。真鶴半島の樹林に囲まれた落ち着いた環境の中で、98歳を目前にして亡くなるまで精力的に創作に取り組んだ中川画伯の芸術世界をご堪能いただけます。	当館は県立真鶴半島自然公園の先端にあり、真鶴町出身の貝類研究者である故遠藤晴雄氏が収集した4,500種50,000点に及ぶ貝類の標本を中心に、海の生物に関する展示を行っています。中でも、真鶴の磯を再現したジオラマや「生きた化石」と呼ばれる27種類のオキナエビス類の展示は当館ならではです。貝類を通して、海の生物の多様性と自然の不思議と一緒に学びましょう。	
定員・参加費	20名程度・200円 大学生以下無料(通常 大人600円)	20名・200円 高校生以下無料(通常 大人300円)
申込方法	電話で10月17日(火)17時まで(毎週水・木曜は休館日) Tel.0465-68-1128	電話で10月18日(水)まで Tel.0465-68-2111

第 329 走	11月1日(水)	
10:00~12:00 【徳富蘇峰記念館】	13:30~15:30 【二宮町ふたみ記念館】	
特別展「教科書で見た!!あの人を書いた手紙展Ⅱ」 ジャーナリスト・徳富蘇峰が生涯をかけて築いた広範な交遊関係に、当館に残る実物の手紙をもとに迫ります。好評だった昨年度企画に続く第二弾です。固いイメージになりがちな古人の書簡を身近に感じていただけるよう、本年度はその内容を一枚のイラスト画にまとめて紹介していますので、併せてお楽しみください。(展示書簡：後藤新平、森鷗外、森永太郎、秋山真之、九条武子、中村吉右衛門、杉孫七郎、新渡戸稲造、菊池寛、アーネスト・サトウ)	当館は、二宮が生んだ異才の洋画家「二見利節(ふたみとしとき)」の記念館で、利節の生誕100年を記念して2011年10月に開館しました。利節は、小田原在住の画家「井上三綱」に指導を仰ぎ油絵の制作を続けていましたが、その旺盛な創作意欲は油絵にとどまることなく、あらゆる技法や画材へと展開されていきます。描くことへの絶え間ない衝動と、卓越した感性により生み出された普遍的な魅力を持つ作品の数々をお楽しみください。	
定員・参加費	12名・400円(通常 一般500円)	20名・無料(通常 一般200円)
申込方法	電話またはメールで10月27日(金)まで Tel.0463-71-0266 メール tsoho@peach.ocn.ne.jp	電話で10月1日(日)から10月29日(日)16時まで Tel.0463-70-3210(ふたみ記念館)

第 330 走	11月17日(金)	
10:00~12:00 【箱根町立郷土資料館】	13:30~15:30 【小田原城天守閣】	
箱根が湯治場から国際的な温泉観光地へと移り変わっていく江戸時代以降の様子を、温泉開発や交通網の整備などを絡めて紹介しています。ミニチュアの「わらじ作り」体験ができるコーナーもありますので、お立ち寄りの際はぜひチャレンジしてください。今回は、1923(大正12)年に発生し、箱根町にも大きな被害をもたらした関東大震災から100年の節目にあたり、その被害の様子から復興までの歴史を紹介する企画展「関東大震災と箱根」(仮称)を中心に解説します。	令和5年(2023)は、小田原北条氏が伊勢から北条へ改姓して500年となる節目の年です。小田原城天守閣では、令和5年度特別展として、この小田原北条氏誕生500年を記念した展覧会を開催し、北条氏の事績などを紹介する予定です。今回はこの特別展を含めた小田原城天守閣の展示をご案内する予定です。 ※入場及び各階への移動は階段のみとなっています。	
定員・参加費	15名・無料(通常 大人300円)	10名・無料(通常 大人510円)
申込方法	電話で11月16日(木)17時まで Tel.0460-85-7601	電話またはメールで11月15日(水)17時まで Tel.0465-23-1373 小田原城総合管理事務所 メール: odawara-castle@city.odawara.kanagawa.jp

第 331 走	12月1日(金)	
10:00~12:00 【おだわら諏訪の原公園】	13:30~15:30 【小田原文学館】	
里山の自然や地域文化とのふれあいを通じて、遊びながら学ぶ喜び、発見できる喜びを体験できる「ふるさとふれあい公園」です。クラフトコーナーのあるパークセンターや芝生の広場、眺望抜群の展望台、169mのローラー滑り台、ミカンとキウイの果樹園、菜園などがあります。また、未病を改善する取り組みを気軽に実践いただける「未病いやしの里の駅」の運動の駅として、毎日のラジオ体操や毎月の運動イベントを続けています。当日はミカン園のガイドツアー、収穫体験などを実施します。	小田原出身の北村透谷・牧野信一・尾崎一雄・川崎長太郎ら、一時小田原で暮らした谷崎潤一郎・三好達治・坂口安吾らゆかりの文学者を紹介する本館、大正7年以降8年間に及ぶ北原白秋の小田原での童謡創作等の事績を顕彰する別館 白秋童謡館、市内曾我谷津から移築した尾崎一雄の書斎『冬眠居』からなります。本館・別館は明治期に宮内大臣等を務めた政治家、田中光顕の旧別邸(本館の設計は曾禰達藏)で、国の登録有形文化財、庭園の一部は日本の歴史公園100選に選定。	
定員・参加費	10組(応募多数の場合は抽選)・500円(1組)	20名・無料(通常 大人250円)
申込方法	電話で10月27日(金)~11月17日(金)まで Tel.0465-34-0404	電話で10月25日(水)~11月29日(水)17時まで Tel.0465-49-7800 小田原市立中央図書館

第 332 走	12月7日(木)	
10:00~12:00 【箱根ラリック美術館】	14:00~16:00【松永記念館】	
仙石原にある当館は、フランスを代表するジュエリーとガラスの工芸家 ルネ・ラリック (1860-1945) の生涯を辿るコレクションを展示しています。当日は、七宝の技法を用いた色鮮やかな宝飾品や、目には見えない香りをボトルの造形で表現した美しいデザインの香水瓶、ガラスの花器、空間をガラスで演出した装飾パネルや噴水など、約 230 点の作品をご覧ください。ジュエリーとガラス工芸の両分野で新たな境地を切り拓いたラリックの創作姿勢や想いについても、スタッフがわかりやすく解説します。	戦前・戦後を通じて「電力王」と呼ばれ、今日の電力体制を創り上げた実業家で、数奇茶人としても高名であった松永安左衛門 (耳庵) が設立した記念館です。松永翁ゆかりの資料のほか、四季折々の草花が美しい庭園 (「日本の歴史公園 100 選」) や翁が晩年を過ごした邸宅・老樗荘 (国登録有形文化財) が見どころです。当日は、紅葉の時期に、耳庵が晩年を過ごした老樗荘などを解説付きでご案内します。	
定員・参加費	50名・800円 (通常 大人 1,500円)	10名・無料
申込方法	往復葉書で 11月22日 (水) 必着 〒250-0631 足柄下郡箱根町仙石原 186-1 箱根ラリック美術館 ミュージアム・リレー係 宛 Tel.0460-84-2255	電話で 11月10日 (金) ~12月6日 (水) まで Tel.0465-23-1377

第 333 走	2024年1月19日(金) 10:00~12:00 【箱根駅伝ミュージアム】	
1920年の第1回大会から今日に至るまで、100年におよぶ数々の名場面を生み出した箱根駅伝の歴史にふれることができます。各大会の名シーンを記録した貴重な写真や、往年の名選手が愛用した品々、そして真剣勝負の裏側にあるさまざまなエピソードなどを、テーマで区切り展示してあります。箱根駅伝の歴史をお楽しみください。		
定員・参加費	20名・500円 (通常 大人 650円)	
申込方法	電話で 1月18日 (木) 午前中まで Tel.0460-83-7511	

第 334 走	2月16日(金)	
10:00~12:00 【小田原フラワーガーデン】	13:30~15:30 【小田原市尊徳記念館】	
四季折々の花が楽しめる小田原フラワーガーデンの2月は、梅の季節です。公園の約半分の面積 (約2ha) に広がる「溪流の梅園」は、約300品種500本の梅が植栽されており、梅の品種は県内最多数を誇ります。当日は梅のマメ知識や品種ごとの見所が分かる「溪流の庭園ガイドツアー」や、約300種類の熱帯植物が楽しめる「トロピカルドーム温室ガイドツアー」を行います。また当園の人気イベント、すっぱいレモンが甘くなる!? 不思議な果実体験「ミラクルフルーツ体験」も行います。	当館は、二宮尊徳翁 (二宮金次郎) および報徳仕法の顕彰・普及を目的としてつくられた施設です。尊徳翁の生誕地枯山に位置し、敷地内に翁の生家やジオラマ、生涯を解説する展示室があります。また、当館の周辺には、翁にまつわる史跡や、顕彰のモニュメントが複数あります。当日は学芸員によるミニ講座と展示室・周辺史跡の見学を行います。	
定員・参加費	20名・200円 (通常 大人 500円)	30名・無料 (通常 大人 200円)
申込方法	電話で 2月15日 (木) 17時まで Tel. 0465-34-2814	電話で 1月16日 (火) ~2月14日 (水) まで Tel.0465-36-2381

第 335 走	3月1日(金) 13:15~14:45 【神奈川県立生命の星・地球博物館】	
地球の誕生から現在までの46億年にわたる歴史と生命の多様性をわかりやすく展示しています。巨大な恐竜やいん石から豆粒ほどの昆虫まで1万点にのぼる実物標本を展示しています。当日は、企画展「動物たちの暮らし~藪内正幸が描いた生態画の世界~ (仮称)」を学芸員がご案内します。動物たちのしぐさやすんでいる環境などを紹介する「動物生態画」は絵本や図鑑など広く利用されてきました。本展示では、藪内正幸氏により描かれた生態画を通して、動物たちの暮らしを剥製や写真と共に紹介します。		
定員・参加費	20名・無料 (通常 大人 520円等)	
申込方法	博物館ウェブサイトの申込フォーム (URL: https://nh.kanagawa-museum.jp/) または往復葉書で 2月19日 (月) 必着 〒250-0031 小田原市入生田 499 神奈川県立生命の星・地球博物館 リレー係 Tel.0465-21-1515	

主催：神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会 (通称 WESKAMS)

(事務局)：神奈川県立生命の星・地球博物館 企画普及課
〒250-0031 小田原市入生田 499 Tel.0465-21-1515

神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会(2023.3.1)